

JET が支える姉妹都市交流の新しい姿

ニューヨーク事務所

1. JETAA ロッキーマウンテン支部の功績

2012 年 12 月 3 日、デンバー日本国総領事館が主催する毎年恒例の天皇誕生日レセプションが開催されました。その際、コロラド州のヒッケンルーパー知事は大野総領事を始めとする出席者の前で、「2013 年は日本とコロラド州の関係が強化され、友情及び相互理解が深まる年である」という宣言を行いました。日本が米国に贈った桜の 100 周年記念およびコロラド州と日本との直行便就航、そして JET プログラムへのコロラドの人々の熱心な参加により、両国間にかつてないほど強い絆が育まれていることを確認するものです。

コロラド州は毎年、天皇誕生日レセプションの際にこのような宣言を行っていますが、今年は JET プログラムについて言及があったという点において特徴的です。なかでも JETAA ロッキーマウンテン支部メンバーが、JET プログラム参加者の募集や選定に加え、姉妹都市交流支援に積極的に参加していることが、JET プログラムだけにとどまらず、コロラド州と日本の関係強化に貢献していると評価されました。この日同支部の役員たちは、日本人コミュニティメンバーや経済界のリーダーたち、デンバー市のハンコック市長と共にレセプションに晴れやかな表情で出席しました。



天皇の誕生日を祝し、

日本から米国に友情の証として贈られた桜の100周年、およびコロラド州に日本から新しく送られた桜の植樹式を祝し、

1987年以来コロラド州の何百人もの参加者を送り出しているJETプログラムの持続的な成功を祝し、

コロラド州と日本間の初めての直行便開始の発表が、コミュニティの資本家の間で、新たなエ

エネルギーと協力関係を築き、また日本とコロラド州の間の文化的・経済的交流の増加をもたらしたことを祝し、

私、コロラド州知事ジョン・W・ヒッケンルーパーは、ここに2013年の宣言を行います

*THE YEAR OF OPPORTUNITY FOR ENHANCED
RELATIONS, FRIENDSHIP, AND MUTUAL
UNDERSTANDING BETWEEN
JAPAN AND THE STATE OF COLORADO*

日本とコロラド州の関係および友情、相互理解が深まる好機
の年



2012年12月3日 コロラド州知事
ジョン・W・ヒッケンルーパー

A handwritten signature in black ink, reading "John W. Hickenlooper".



ジョン・W・ヒッケンルーパーコロラド州知事（左）、大野総領事（中央）、会場の様子（右）

2. JETAA USA 年次総会での姉妹都市パネルディスカッション

これに先立って 10 月にサンフランシスコで開催された 2012 年度の JETAA 年次総会においても、姉妹都市交流への JETAA の参画についてのセッションが持たれ、JETAA が今後の姉妹都市交流にとって重要な役割を果たしていくことが確認されました。セッションは、サンフランシスコベイエリア（サンフランシスコ湾の湾岸地域）とカリフォルニア州北部周辺のいくつかの姉妹都市関係者がパネルディスカッションを行い、それに対して JETAA の支部代表者たちが意見を述べ、質疑をしながら理解を深める形式で進められました。すでに行われている JETAA による交流事例の紹介も数多く情報共有されました。

姉妹都市関係者からは、JETAA へ期待することとして、世代間の橋渡しとして姉妹都市団体の活動に積極的に参加してほしいと意見がありました。アメリカの姉妹都

市団体はボランティアで運営されていることが多く、メンバーも高齢者が多い現状があり、年齢が若く日本文化に詳しい JETAA が活動に参加することは大きな助けになります。また JETAA としても、日本の姉妹都市の幹部とファーストネームで呼び合う関係になれる絶好の機会であり、市長と親しくなれる機会は姉妹都市交流以外にはそう多くはありません。姉妹都市交流での交流がビジネスチャンスにつながることもあります。



JETAA USA 年次総会での姉妹都市パネルディスカッションの様子

3. 国際交流の原点は「人」

姉妹都市交流は以前から草の根レベルでの日米間交流を促進する上で非常に大切な活動だと評価されていましたが、先の東日本大震災ではその重要性が改めて注目されました。フォートブラッグと岩手県大槌町の交流を例に挙げると、津波により大きな被害を受けた大槌町のためにフォートブラッグの人々が集めた寄付金は \$ 250,000 ドルに上りました。人口 7000 人ほどのフォートブラッグがそれほどの寄付金を集め、津波により多くの人命、家屋、仕事、海岸線などを失った大槌町を支援したことは大槌町の人々の心を打ち、またその感謝の言葉がさらにフォートブラッグの人達を励ますという、支援と感謝の好循環により両町の絆は深まりました。また、東日本大震災における JETAA の支援活動も高く評価され、日本の各地域で感謝されています。アメリカの全支部で集めた寄付金 (JETAA USA Relief Fund) は、総額は約 \$88,900 ドルに上りました。

近年、姉妹都市交流の関係者の間では、従来の友好親善から、実質的な成果（特に経済面において）をあげることが求められるようになっていきます。しかし人と人との草の根レベルの交流が国際交流の原点であることは変わらず、決して古びるものではないことが震災という困難を通じて確認されました。姉妹都市交流と JETAA 支援業務を担当するクリア職員として、JETAA が姉妹都市交流に積極的に参加できる仕組みを整え、草の根レベルでの交流を活発化させていけるよう、我々にできることを考えていきたいと思います。

(大野所長補佐 堺市派遣)